



西東京市立栄小学校

令和8年2月27日(金)

西東京市栄町 2-10-9

TEL 042(423)0276

令和7年度のおわりにあたって

校長 佐藤 千晴

連日、日本選手の活躍が大きく報道されてきたミラノ・コルティナ冬季オリンピックが閉幕しました。メダルを手に満面の笑みで記者会見する選手、目標に届かず悔し涙を流す選手、今季で引退・これまでの集大成をやりきった選手…様々な思いがテレビ画面を通して伝わってきました。どの選手もメダルの色や順位では計ることはできない日本が誇るすばらしい活躍でした。大きな舞台の閉幕は、感動の余韻と共に寂しさも感じるものです。学校も、令和7年度があとひと月となりました。6年生の教室には卒業までのカウントダウンのカレンダーが飾られ、あとわずかとなる小学校生活を表しています。卒業を間近に控えた6年生は、4月からの中学校生活への期待とともに小学校生活が終わる寂しさも感じているのではと思います。月日が経つのは早いと言われますが、昨年4月の入学式では、背中のレストランが大きく見えた1年生が、もう2年生になる姿を見ると、あらためてこの1年間の月日の経過と子供たちの成長を感じます。

今年度、本校は、学びを重視した教育活動を行ってまいりました。その成果は、オリンピックのように順位や数値で表すことができませんが、日々の子供たちの学びの姿から見ると、少なからずその成果は伝わってきます。すぐに結果や成果につながらなくとも、日々積み重ねていくことで子供たちの「学力」は必ずや伸びていくと信じ、今後も「学び」を重視した教育活動を進めてまいります。

また、昨年度よりコミュニティ・スクールとなり、今年度末で2年目が終わろうとしています。地域と連携した教育活動や各学年で行ってきた「ふるさと探究学習」も充実した「学び」となりました。この教育活動は、学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員）をはじめ、多くの皆様のお力をいただき実現したものであります。「体験に勝るものはない」と言われますが、まさにその体験活動が地域の力をいただけてできました。これまでの実践をもとに、次年度も地域と連携した地域協働型の活動、そして「地域と共に、子供たちの笑顔が輝く教育」をさらに推進してまいります。

今年度、まだ数週間残っておりますが、年度の終わりにあたり、栄小学校を支えてくださった保護者の皆様、栄小応援団の皆様、地域の皆様に心より御礼申し上げます。「子供たちのために」というあたたかな、そして力強いお力添え、本当にありがとうございました。次年度も皆様のご期待にお応えできるよう、教職員一同力を合わせて子供たちの教育に全力で取り組んでまいります。今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

生活指導

3月の生活目標:「学校をきれいにしよう」

4月から使っていた教室や机で過ごすのも、残り一か月となりました。4月からは、次の学年が使います。1年間の感謝の気持ちを込めて、この一か月はいつも以上にしっかり掃除し、自分の使った場所はもちろん、学校全体をきれいにしていくように指導します。また、もう一度、持ち物の記名を見直し、落とし物がそのままにならないようにご家庭でもお声掛けください。